

JICA-VAN

操作説明資料04

7. 各種情報伝達

7.1 インフォメーション機能

7.2 メンタリングボックス

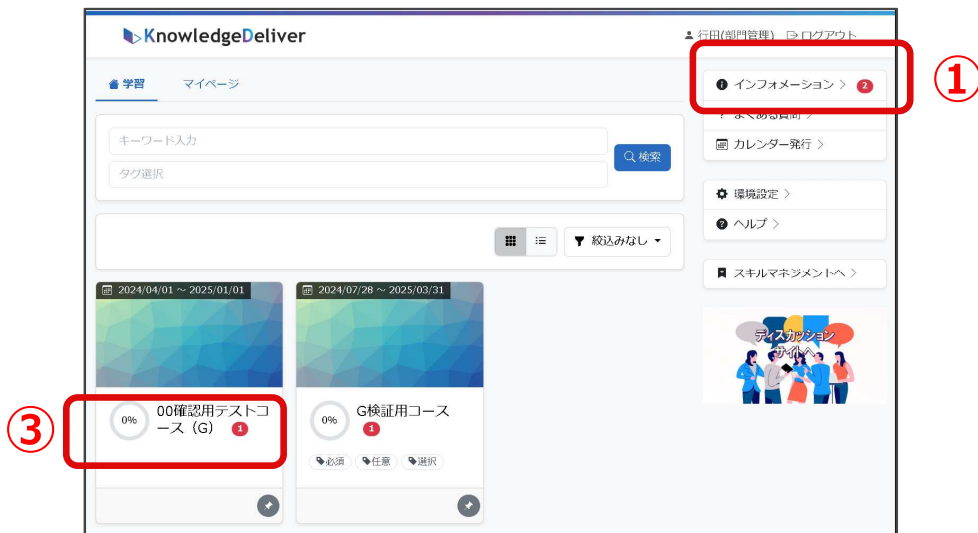


7. 情報伝達

7.1 インフォメーション機能

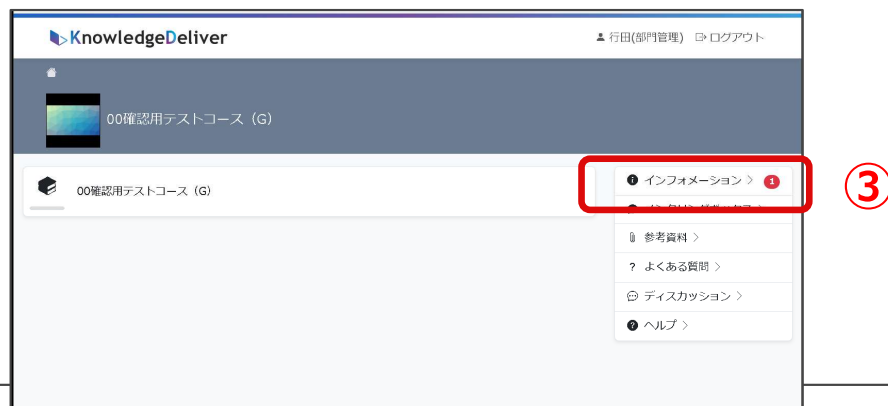
- ① 全スタッフ向けインフォメーション機能
- ② 部門別インフォメーション機能
- ③ 受講クラス用インフォメーション機能

- (1) 受講登録している人全てにインフォメーション情報の配信
- (2) 登録されている部門の人にもインフォメーション情報を配信
- (3) 受講登録されている特定のクラスにのみインフォメーション情報を配信



(2) ①全体向けのインフォメーションと②部門向けのインフォメーションが表示されます。
※表示順は、登録順に表示されます。

③クラス向けインフォメーションは、受講登録がされているクラスをクリックして中に入ると右側にクラス用のインフォメーションがあります。



- (1) ホーム画面左のコンソールボタンより「システム」を押下します。
- (2) 「管理」の中の「インフォメーション」を押下します。



- (3) 「新規作成」をクリックします。

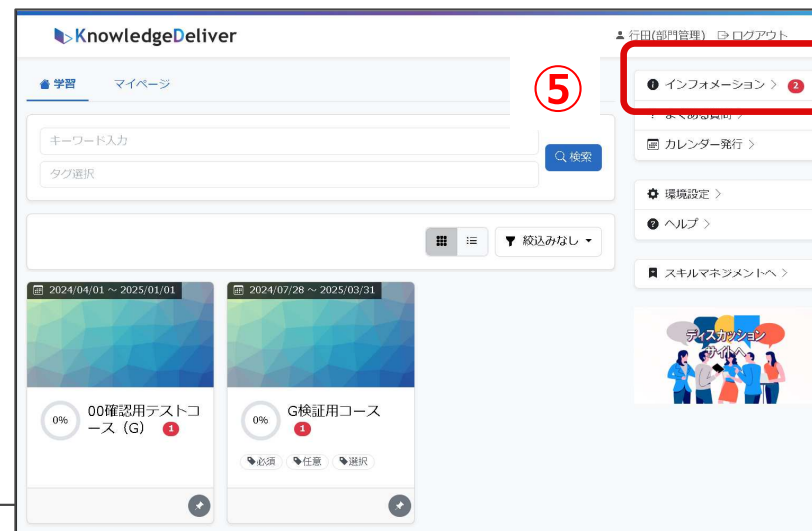


各項目を入力し、保存をクリックします。伝達事項が多い場合は、CSVファイルを使って登録できます。

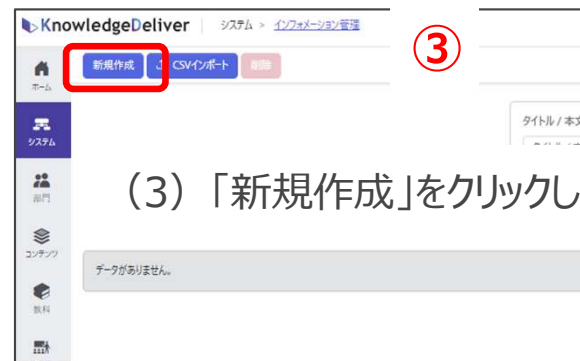
- (4) 必要項目を記載します。



- (5) TOP画面のインフォメーションに未読数が表示されます。



- (1) ホーム画面左のコンソールボタンより「部門」を押下します。
 - (2) 「管理」の中の「インフォメーション」を押下します。
- ※「システム」を押下すると、全体へのインフォメーションになるので注意しましょう。



- (3) 「新規作成」をクリックします。

各項目を入力し、保存をクリックします。伝達事項が多い場合は、CSVファイルを使って登録できます。



- (4) 必要事項を記載します。

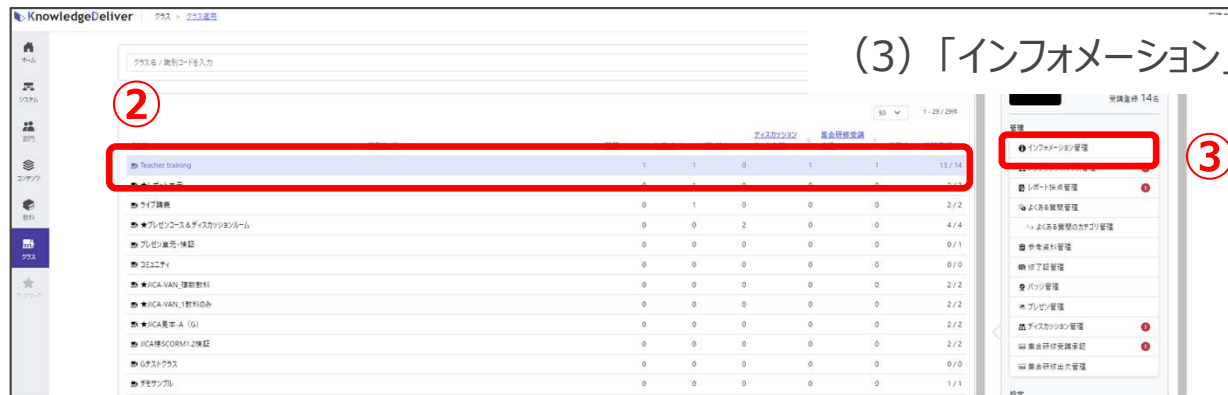


- (5) TOP画面のインフォメーションに未読数が表示されます。

(1) ホーム画面左のコンソールボタンより「クラス」を押下します。「クラス運用」を押下します。



(2) 「クラス一覧」で対象のクラスを選択します。



(3) 「インフォメーション」を選択します。

(4) 新規作成を選択します。



(5) 設定画面でクラスに関する連絡を登録します。インフォメーションの公開開始日、公開終了日の設定や添付ファイルでの資料の共有ができます。



(6) 受講者の画面では、クラスのインフォメーションに通知数が表示されます。



- (1) 操作の「閲覧状況」をみると、どの受講者がどのくらい閲覧しているかを見ることができます。
- (2) 閲覧状況が確認できます。

The screenshot shows the KnowledgeDeliver interface for managing information. The top section displays a search bar and a table of information items. The 'View History' button is highlighted with a red box and labeled with a circled '1'. A blue arrow points from this button to the detailed view below. The detailed view shows a table of users and their reading status, which is also highlighted with a red box and labeled with a circled '2'.

タイトル	送信元	公開開始日	公開終了日	操作
LMS概要説明会	管理者	2024/10/16	2024/10/30	操作 閲覧状況

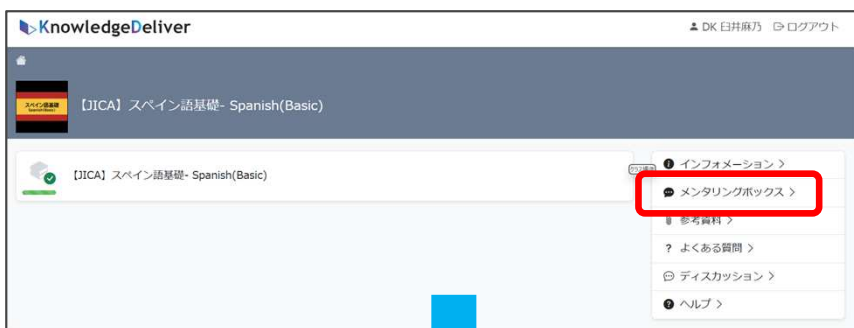
氏名	閲覧状況	最終閲覧日
Toru Muso <trial0335-muso>	未読	-
Yoshihiro Gyoda <trial0335-gyoda>	未読	-
ラーニングセンタ <trial0335-LC>	未読	-
羽田 博 <trial0335-Haneda-Tomio>	未読	-
浦山 友里恵 <trial0335-manager009>	未読	-
荻野 雅史 <trial0335-Ogino.Masafumi>	未読	-
荻野 雅史 <trial0335-manager012>	未読	-
梶井 勇輔 <trial0335-Kajii.Yusuke6>	未読	-

7. クラス画面

7.2 メンタリングボックス機能

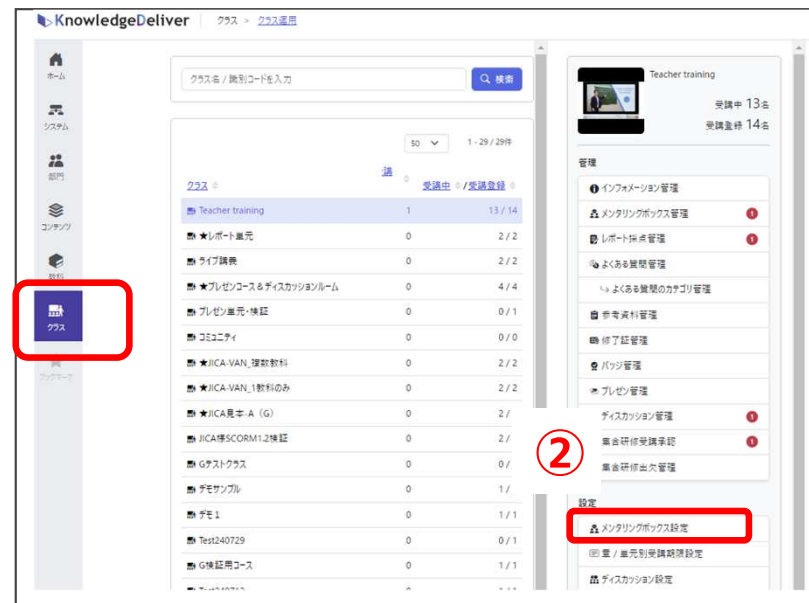
メンタリングボックスは、受講者からの質問などに管理者が回答する機能です。
研修受講中の躓きなどの相談に乗ることができます。

受講者画面



- (1)「メンタリングボックス設定」を選択します。
- (2)「メンタリングボックス設定」質問の件数の制限や、受講画面からの質問の許可等が設定できます。

管理者画面



- (3)条件設定をすることができます。



ホーム画面左のコンソールボタンより「システム」を押下します。「設定」の中の「全体設定」を選択します。



各クラスのメンタリングボックス設定における、「受講中の質問」及び「受講期間終了後の新規質問・返信」項目の初期値を設定できます。クラス作成後の初期値はここで選択した設定となりますが、それぞれのクラスの「メンタリングボックス設定」で個々に上書き設定ができます。



指導 Cockpit から、管理者にいたしての全体的な問い合わせが確認できます。



- (1) ホーム画面左のコンソールボタンより「クラス」を押下します。
- (2) 「クラス運用」を押下します。



(3) 「クラス一覧」で対象のクラスを選択し、「メンタリングボックス管理」を選択します。



感動する eラーニングは私たちが支えています。